

のり養殖通報第3報

千葉県水産総合研究センター東京湾漁業研究所
 千葉県農林水産技術会議 平成 29 年 10 月 3 日発行

間もなく本格化する育苗に向けて水質観測結果を中心に構成しました。

[気象・海況] 植物プランクトン多く栄養塩は低レベル

- 気温は台風 18 号が通過した 9 月 18 日以降変動が大きく平年より高めで推移 (図 1)。9 月 27~28 日には前線を伴った低気圧の影響で 165 mm の降水量を記録した (新富津漁協気象盤)。
- 10 月 2 日の観測では、千葉県沿岸で小型の珪藻 (優占種シュードニッチア) が増加し透明度が低下。その影響で表層の栄養塩は窒素, リンともに低レベルが続いている。表層水温は概ね 23℃前後, 塩分は 28~31 で特に問題の無い値であった (表 1)。
- 新富津漁協自動観測ブイによる観測値では水温は台風 18 号が通過した 18 日以降は上下変動が大きくなり現在は 23℃前後で停滞している (図 2)。

[今後の留意点] 栄養塩の回復, 水温降下のタイミングを見極めて

- 栄養塩の回復と適水温 (23℃) からの低下傾向のタイミングに合わせて育苗を開始することが重要なポイント。
- 表層の栄養塩量は 9 月 25~26 日の調査結果と比較してやや回復した地点もあるが, 依然健全な種網育成が心配される低レベルが継続。一方内湾の底層や湾奥部の東京寄りには栄養塩が十分に含まれている地点がある。
- 気象予報では, 10 月 4 日以降気温は平年を下回るとともに, 6~7 日にはまとまった降雨が予報されています。水温低下と上下混合による栄養塩の回復が期待されます。

本情報は東京湾海象情報システムよりダウンロードしてご覧ください。
 次回は 10 月 10 日に臨時調査を実施し 10 月 11 日頃発行します。

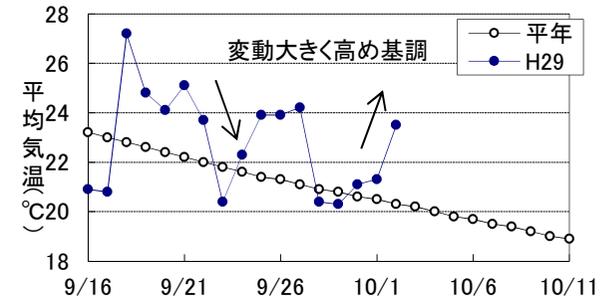


図1 日平均気温 平年との比較(千葉)

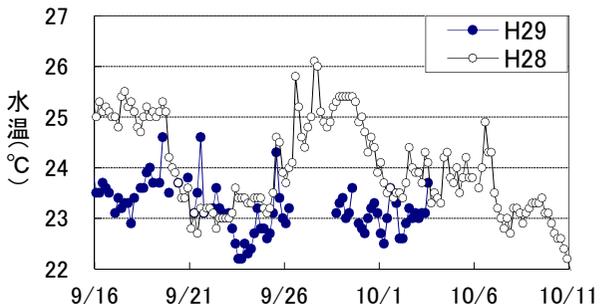


図2 昨年度と今年度の水温の比較(新富津観測ブイ)

表 1 水質観測結果(10/2)

	水温	塩分	pH	透明度	窒素*	リン**
船橋	23.0	27.8	8.6	1.9	51	5
盤洲 C ブイ	23.0	30.0	8.6	2.1	32	7
盤洲 B ブイ	22.9	29.1	8.6	2.1	25	6
盤洲 A ブイ	23.1	28.9	8.7	1.7	3	7
富津ベタ	22.9	29.9	8.4	2.7	33	4
2 海ほ下	23.1	30.8		3.0	6	4
大貫沖	23.0	30.5		2.0	8	8
湊沖	22.9	30.2		2.0	24	9

※ノリの生育や色調の保持に必要な目安=窒素 90, リン 5